

令和3年3月 鳥取県中小企業団体中央会情報連絡員報告

マイナス基調ながらも上昇傾向

新型コロナウイルス感染者の増加によって先行きは不透明

～景況DI値は、前年同月比23.8ポイント上昇のマイナス36.8～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 3月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI値前月比26.4ポイント上昇のプラス31.6、前年同月比36.8ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比21.0ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス42.1。

販売(受注)価格 製造業では、DI値前月比26.3ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス26.3。

収益状況 製造業では、DI値前月比21.1ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比36.8ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比42.2ポイント上昇のマイナス31.5。

資金繰り 製造業では、DI値前月比15.8ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比21.0ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比10.4ポイント上昇のマイナス21.1、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス42.1。

雇用人員 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、前月比21.0ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス21.0。

景況 製造業では、DI値前月比21.1ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比26.3ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比21.0ポイント上昇のマイナス47.4。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比13.1ポイント上昇のマイナス18.4、前年同月比23.8ポイント上昇のマイナス36.8となった。製造業では、繊維工業、紙・加工品等でコロナ禍の影響による売上高等減少が続いている。金属製品では、一部で持ち直しの動きがあるものの足踏み状態。非製造業では、首都圏等への緊急事態宣言解除や割引キャンペーンにより旅館・観光関連では持ち直しの動きがあるものの、新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあり不安感は増している。県内景況は、マイナス基調ながらも上昇傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染者の増加から先行きは不透明な状況にある。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

3月の全国倒産は、件数648件で、8カ月連続で前年同月を下回った。負債総額は1,400億5,300万円(負債総額1,000万円以上)で、2カ月連続で前年同月を上回った。不況型倒産の合計は505件、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は411件となった。

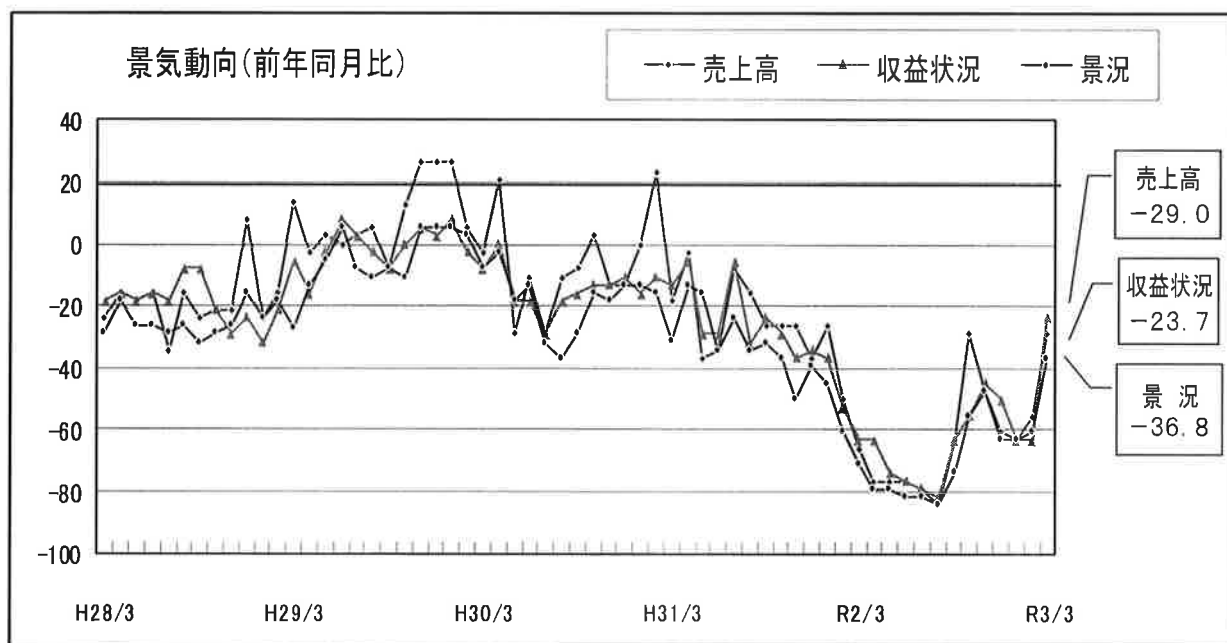
一方、3月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件(前月0件)、負債総額は1億8,300万円(前月0円)で、業種別では、小売業が1件、サービスが1件、主因別ではすべて販売不振となっている。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報2月分」)

鳥取県の2月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.26倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.09倍)で、前月より0.04ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.23倍、米子所1.39倍、倉吉所1.52倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.22倍(季節調整値)で、前月より0.09ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比15.2%減少し、有効求人数は13.3%の減少となった。産業別に前年同月で比較すると、建設業(16.8%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.8%増加し、有効求職者数は5.4%増加した。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.42倍で、前年同月を0.45ポイント下回った。新規求人数は前年同月を19.5%下回った。



3月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	42.1%	10.5%	31.6 26.4	52.6%	26.3%	26.3 21.0	47.4%	18.4%	29.0 23.7
(2)在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 5.2	16.7%	16.7%	0.0 -8.3	12.9%	9.7%	3.2 0.0
(3)販売価格	26.3%	0.0%	26.3 26.3	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	15.8%	7.9%	7.9 15.8
(4)取引条件	10.5%	0.0%	10.5 21.1	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	7.9%	10.5%	-2.6 7.9
(5)収益状況	26.3%	15.8%	10.5 21.1	26.3%	26.3%	0.0 10.5	26.3%	21.1%	5.2 15.7
(6)資金繰り	10.5%	0.0%	10.5 15.8	10.5%	31.6%	-21.1 10.4	10.5%	15.8%	-5.3 13.2
(7)設備操業度	26.3%	5.3%	21.0 63.1						
(8)雇用人員	10.5%	0.0%	10.5 5.2	10.5%	5.3%	5.2 21.0	10.5%	2.6%	7.9 13.2
(9)景況	5.3%	15.8%	-10.5 21.1	15.8%	42.1%	-26.3 5.3	10.5%	28.9%	-18.4 13.1

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	26.3%	42.1%	-15.8 36.8	26.3%	68.4%	-42.1 15.8	26.3%	55.3%	-29.0 26.2
(2)在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 5.3	8.3%	41.7%	-33.4 0.0	6.5%	29.0%	-22.5 3.3
(3)販売価格	15.8%	15.8%	0.0 15.8	10.5%	36.8%	-26.3 -15.8	13.2%	26.3%	-13.1 0.1
(4)取引条件	10.5%	10.5%	0.0 5.3	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 2.7
(5)収益状況	26.3%	42.1%	-15.8 36.8	21.1%	52.6%	-31.5 42.2	23.7%	47.4%	-23.7 39.5
(6)資金繰り	10.5%	26.3%	-15.8 21.0	5.3%	47.4%	-42.1 15.8	7.9%	36.8%	-28.9 18.5
(7)設備操業度	15.8%	36.8%	-21.0 31.6						
(8)雇用人員	10.5%	10.5%	0.0 10.5	5.3%	26.3%	-21.0 10.6	7.9%	18.4%	-10.5 10.6
(9)景況	15.8%	42.1%	-26.3 26.3	10.5%	57.9%	-47.4 21.0	13.2%	50.0%	-36.8 23.8

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ インバウンド観光地向け業者は厳しい状況が続いているが、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア向け業者は好調で人手不足感もある。

醬油⇒ コロナ禍の影響が昨年秋頃から戻りつつあったが、今年に入り感染拡大とともに業務用を中心に出荷量が減少し、先が見えない状況。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、コロナ禍の影響が続いており、好調な事業所でも前年同月比で8割程度。カタログ、ネット販売を媒体としている受注は低単価のため、国内での生産に組み込めない。座席シート縫製では、自動車座席シートの受注内示数は増えていく傾向に見受けられたが、車種によるバラツキがあり短期間での受注数量増減に生産の対応が難しい。

ニット製品⇒ 受注及び生産状況は低空飛行のまま現時点での回復の兆しはない。雇用調整助成金等で雇用を維持し何とか継続しているが、今後は不透明が増している。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。リビング関連の高級品も一服感が見られる。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で増加。合板の生産量は前月比で不変。原木価格は強含みで、製材品価格も上昇している。製材品の中には不足感もある。例年に比べ見積りが少なく春以降の仕事量が確保できるのか不安。プレカット加工の稼働率は、前月比100%増加、前年同月比でも35%増加。

【紙・加工品】

和紙⇒ コロナ禍の影響で売上高は減少しているが、底をついた感はある。例年売れている商品は、量的には少し減少しているが、注文は入ってきている。新年度が始まり、学校関係の需要に期待したい。

【印刷】

⇒ 官公庁や学校関連の来年度に向けた印刷物は例年通り受注があった。今のところコロナ禍によるイベント等の中止の声はない。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 3月の生コン出荷量は、前月比24%増加、前年同月比12%減少。3月は、東部・中部では大型物件が少なく、西部では道路関係・防衛省関連・マンションなどの物件があり、活発であったが、全体を押し上げるほどにはならなかった。次年度も大変厳しいと予想している。県内で

は、需要の大幅な減少により、生産設備の集約化を進めており、東部地区で製造委託工場を開始している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内特に東部、中部は地元物件が少なく、受注競争が厳しい。メーカーは、値上げを進めたいものの物件が乏しく足踏み状態。元請けの受注競争もあり、収益面での影響も出ている。機械加工は、得意先の休業による雇用調整助成金申請が続いているが、徐々に仕事は戻ってきている。ただ、半導体部品の供給不足により、自動車メーカーが減産を余儀なくされ得意先は影響を受けている。

鉄骨加工⇒ 昨年末からのスクラップ価格高騰などの影響による鋼材の値上げは高炉メーカーにも波及しており鋼板、コイルから作られるC形鋼まで1トン当たり15,000円から20,000円の上昇となり利益確保が難しい時期に入っている。また山陽方面には受注残の少ない業者も多く、低価格での受注合戦も始まっている。

金属熱処理⇒ 前月比で景気が上向いてきている事業所が多くなっている。一方で低迷から脱出できない事業所も少なからずある。前年同月比では必ずしも悪くはなかったが今年はそれを上回る状況となった。特にエネルギー関係部品の受注が前年同期にはなかった部品の処理が増加した。但し、今後はこのエネルギー関係部品が航空機部品の需要減少に伴い、間接的に受注が落ち込むことが予想される。

【電気機械器具】

⇒ 年度末の部材棚卸で生産は減少したが前年比で受注は増加した。コロナ禍のリモート関係機器は依然好調。車載関係は部材調達の影響が出ている。受注は増加傾向だが年度初めも部材調達の影響を懸念している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。コロナ対策融資、雇用調整助成金を多くの事業所で利用している。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比とも増加。家庭内消費もありコロナ禍の影響は少ない。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。コロナ禍の影響によりホテル、旅館等の低迷が懸念される。

中部地区⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに増加。例年通り官公庁で年度末に絡み受注分の納品や処理で多忙となった。新年度の案件探しが正念場。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水産物⇒ 巻網漁は小型イワシ中心の水揚げとなり総水揚量も昨年に比べ40%近く減少した。養殖魚の餌料向けが中心であるもののコロナ禍による養殖魚の需要低迷等から荷動きは低迷している。コロナに翻弄され相

場が乱高下した松葉ガニ漁は漁期の最終期になり例年並みの相場で終了した。紅ズワイカニは製品製造・在庫調整に入り浜値の下落を招いた。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、月初めに1,000円値上がりしたが、海上運賃の高騰や配船難のために中旬以降1,000円値下がりし、軟調な推移を続けた。古紙市況は安値安定のまま。非鉄市況は、銅とアルミが値上がりし、ステンレスは値下がりした。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、コロナ禍で厳しい状況だか、年度末、進学等の影響でモノが動いている。飲食店は自粛ムードが続いているが少し活発になってきた。小売店は人出が戻っていない状況が続いており厳しい。宿泊関連は、#WeLove 山陰キャンペーン効果もあり戻ってきている。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、中部地区で新型コロナクラスターが発生し、経済活動も沈滞した。「Go To 商店街」も採択されながら実行に移せていない。商店街では、昨年引き続き桜ぼんぼりの点灯もなく人が動かず、商売は大苦戦となっている。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、首都圏等の緊急事態宣言解除による来街者の増加を期待したが、変異株の脅威もあり増加には至らなかった。新年度に向けて様々なイベントも企画されているが、ワクチン接種が十分でない現状に不安を感じる。

境港市の水産物小売は、関西方面の感染者数が増加傾向となり、土日の来場者数も激減した。例年であれば花見シーズンも重なり県外からの来場者も増え売上も伸びる時期だが、前月比、前年同月比ともに大幅に減少した。大型連休に期待しているが、まん延防止等重点措置が取られ、観光客相手の業種は直撃を受けることが予想される。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、緊急事態宣言解除、天候が良好だったことや学生等が春休みに入ったことで観光客が大幅に増加した。売上高も前月比、前年同月比ともに増加。しかし、新型コロナ感染者が日を追うごとに急激に増加している状況であり、急速な業績悪化が懸念される。

米子市のホテル・旅館では、緊急事態宣言解除や鳥取県、米子市の割引キャンペーンの後押しもあり、山陰両県からの利用客を中心に宿泊客が増加、売上高、販売価格も増加し収益状況も好転した。

三朝温泉では、三朝温泉連泊プラン（2泊目無料）や#WeLove 山陰キャンペーンにより予約状況は持ち直してきている。

大山では、コロナ禍により宿泊客は減少傾向。登山客はあるが、団体客はない。

【自動車整備業】

⇒ 新車販売実績の前年同月比は、普通乗用車は約3%、軽乗用車は約4%、普通貨物車は約4%とそれぞれ増加した。軽貨物車は約1%の減少。継続検査を含む中古車の前年同月比の実績は、普通車が約66%、

軽自動車約51%の増加。新車、継続、中古車ともに前月比で大幅な増加となり、前年比では約16%の増加となった。年度末が増加の原因ではあるが、新型コロナの影響も薄れてきた感がある。

【建設業】

⇒ 2月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額68億円(前年同月比9%減)、件数76件(同増減なし)、年度累計(令和2年4月～令和3年2月)でも、請負金額936億円(前年同月比10%減)、件数1,665件(同13%減)となり、5カ月連続で前年比マイナスとなった。設備投資も単月では大幅に上振れるも、マイナス基調は継続。住宅建設でも、全体は単月で上振れる一方、3カ月平均はマイナスとなっている。民間工事の受注に関しては、来年度に向けた受注が激減しており、さらに民間工事の減少により、公共工事の案件に事業者が集中することによる競争の激化も懸念される。

2月の鳥取県新設住宅着工戸数は185戸(持家147戸、貸家38戸)で、前月比32%増加、前年同月比14%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業等の出荷量は概ね横ばいで推移し、荷動きは低調な状況が続いている。復路荷物は更に悪く荷動きも低調な動きとなり、空車で帰る車両もみられ非効率な運行が続いている。売上高は、前月比で微増、前年同月比で減少。燃料価格は大幅に値上がりし収益状況は厳しい。

西部地区⇒ コロナ禍のなか、引越も少なく、物量は復路荷物を中心に減少した。燃料価格もアメリカを中心に経済回復への期待から上昇し続けている。今後は新型コロナ感染が落ち着くことと、ワクチン接種率の向上、副反応の懸念払拭がポイントとなる。時間外労働の上限規制が改正法施行後の3年後には適用されることになるなど、残業時間規制と賃金引き上げの狭間で如何に生産性を向上させ利益を確保するかを求められている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・コロナ禍の影響は間接的に民間大型工事の延期等が見受けられ、国の予算も大型災害復旧に優先的に予算が配分されている。当県の国土強靱化推進のため、国県の子算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・設備投資助成金、人材のマッチングを希望。外国人技能実習生はコロナ禍のため入国が制限されている。国民年金の加入を滞在期限ある外国人に強いるのは理解できない。【電子部品製造業】
- ・雇用を守るためにも、支援策とともに、鳥取独自の経済が回っていく仕組みをお願いしたい。【商店街】
- ・「GoTo 商店街」のプロジェクトを早く実行したい。【商店街】
- ・「GoTo トラベル」のエリア運用、割引率など弾力的な運用を要望。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年 3月	前年との 増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
売上高	製造業	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	94.7
	非製造業	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	63.2
	全業種	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	79.0
在庫数量	製造業	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	5.2
	非製造業	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3
	全業種	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	6.4
販売価格	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	36.8
	非製造業	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	21.1
	全業種	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	28.9
取引条件	製造業	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	26.3
	非製造業	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	5.3
	全業種	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	15.8
収益状況	製造業	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	63.1
	非製造業	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	52.7
	全業種	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	57.8
資金繰り	製造業	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	47.3
	非製造業	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	36.8
	全業種	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	42.1
設備稼働率	製造業	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	47.3
雇用人員	製造業	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	15.8
	非製造業	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	31.5
	全業種	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	23.7
景況	製造業	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	47.4
	非製造業	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	31.6
	全業種	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	39.5

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上高	製造業	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	63.1
	非製造業	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5
	全業種	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	36.8
在庫数量	製造業	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	-21.0
	非製造業	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	0.0
	全業種	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	-12.8
販売価格	製造業	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	5.2
	非製造業	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	5.2
	全業種	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	5.3
取引条件	製造業	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	15.8
	非製造業	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	5.2
	全業種	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	10.6
収益状況	製造業	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	42.1
	非製造業	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	36.9
	全業種	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	39.4
資金繰り	製造業	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	26.3
	非製造業	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	15.8
	全業種	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	21.1
設備操業度	製造業	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	10.5
雇用人員	製造業	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	5.2
	非製造業	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	5.3
	全業種	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	5.3
景況	製造業	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	42.1
	非製造業	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	25.7
	全業種	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	34.3

情報連絡員報告総括表(令和3年3月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
食料品	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	1	
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	
木材・木製品	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	1	2	1	0	4	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	
紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	
化学ゴム																													
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	1	1	0	2	0	2	0	0	1	1	1	
一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	0	1	0	3	0	3	0	1	2	0	0	2	0	2	1	
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
輸送用機器																													
その他																													
19	8	9	2	2	16	1	5	14	0	2	17	0	5	11	3	2	17	0	5	13	1	2	17	0	1	15	3		
100%	42.1%	47.4%	10.5%	10.5%	84.2%	5.3%	26.3%	73.7%	0.0%	10.5%	89.5%	0.0%	26.3%	57.9%	15.8%	10.5%	89.5%	0.0%	26.3%	68.4%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	5.3%	78.9%	15.8%		
卸売業	4	2	0	1	5	0	0	4	2	1	4	1	0	6	0	0	6	0	0	0	0	6	0	0	1	4	1		
小売業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
商店街	1	0	3	1	2	1	0	3	1	0	2	2	1	0	3	1	0	3	0	3	1	0	3	1	0	1	3		
サービス業	4	1	0	0	1	0	1	4	0	0	5	0	4	1	0	1	3	1	2	3	0	2	3	0	2	1	2		
建設業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
運輸業	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	1	1			
その他																													
19	10	4	5	2	7	2	1	15	3	1	14	4	5	9	5	2	11	6	2	16	1	2	16	1	3	8			
100%	52.6%	21.1%	26.3%	16.7%	58.3%	16.7%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	73.7%	21.1%	26.3%	47.4%	26.3%	10.5%	57.9%	31.6%	10.5%	84.2%	5.3%	10.5%	84.2%	5.3%	15.8%	42.1%	42.1%		
38	18	13	7	4	23	3	6	29	3	3	31	4	10	20	8	4	28	6	5	13	1	4	33	1	4	23	11		
100%	47.4%	34.2%	18.4%	12.9%	74.2%	9.7%	15.8%	76.3%	7.9%	7.9%	81.6%	10.5%	26.3%	52.6%	21.1%	10.5%	73.7%	15.8%	26.3%	68.4%	5.3%	10.5%	86.8%	2.6%	10.5%	60.5%	28.9%		

情報連絡員報告総括表(令和3年3月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
食料品	1	0	1	0	1	1	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	
繊維工業	0	0	3	0	1	2	0	2	1	0	0	3	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	2	1	0	1	2	
木材・木製品	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	1	2	1	0	3	1	1	2	1	0	4	0	0	0	3	1
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0
化学ゴム																												
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0
一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	0	3	0	0	1	0	3	0	0	2	1	2	0	1	0
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
輸送用機器																												
その他																												
19	5	6	8	1	14	4	3	13	3	2	15	2	5	6	8	2	12	5	3	9	7	2	15	2	3	8	8	
100%	26.3%	31.6%	42.1%	5.3%	73.7%	21.1%	15.8%	68.4%	15.8%	10.5%	78.9%	10.5%	26.3%	31.6%	42.1%	10.5%	63.2%	26.3%	15.8%	47.4%	36.8%	10.5%	78.9%	10.5%	15.8%	42.1%	42.1%	
非製造業	2	1	3	0	4	2	0	4	2	0	6	0	1	4	1	0	5	1				0	6	0	0	4	2	
卸売業																												
小売業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1	
商店街	0	0	4	1	1	2	0	2	2	0	2	0	4	0	1	3	0	1				0	1	3	0	1	3	
サービス業	3	0	2				1	3	1	0	3	2	3	0	1	2	2	2				1	3	1	2	1	2	
建設業	0	0	1				1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0				0	0	1	0	0	1	
運輸業	0	0	2				0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	0	2	
その他																												
19	5	1	13	1	5	5	2	10	7	0	15	4	4	4	10	1	9	9				1	13	5	2	6	11	
100%	26.3%	5.3%	68.4%	8.3%	41.7%	41.7%	10.5%	52.6%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%	21.1%	21.1%	52.6%	5.3%	47.4%	47.4%				5.3%	68.4%	26.3%	10.5%	31.6%	57.9%	
38	10	7	21	2	19	9	5	23	10	2	30	6	9	10	18	3	21	14	3	9	7	3	28	7	5	14	19	
100%	26.3%	18.4%	55.3%	6.5%	61.3%	29.0%	13.2%	60.5%	26.3%	5.3%	78.9%	15.8%	23.7%	26.3%	47.4%	7.9%	55.3%	36.8%	15.8%	47.4%	36.8%	7.9%	73.7%	18.4%	13.2%	36.8%	50.0%	